

第 363 回（令和 5 年 6 月）定例会
第 2 回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和 5 年 6 月 13 日（火）11 時 37 分から 12 時 08 分まで

2 場所

3 号館 6 階 第 1 委員会室

3 出席者

門 間 雄 司	自由民主党政務調査会長（座長）
奥 谷 謙 一	自由民主党政務調査副会長
増 山 誠	維新の会政務調査会長（副座長）
島 山 清 史	公明党政務調査会長
迎 山 志 保	ひょうご県民連合政務調査会長

（オブザーバー）

松 本 裕 一	自由民主党政務調査副会長
鏑 木 良 子	維新の会政務調査副会長
小 泉 弘 喜	公明党政務調査副会長
橋 本 成 年	ひょうご県民連合政務調査副会長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1) 会派提案意見書案に対する態度表明・整理

各会派から会派提案意見書案に対する態度が別添のとおり表明された。

次に、座長から各会派に意見を求めた。

ア 意見書案 1 について

○奥谷 自由民主党政務調査副会長

ワクチンには有効期限があること、また、感染が再拡大した場合に備え現場自治体が混乱しないようワクチンの安定供給・情報共有の体制は必要であると考えことから、記 2 の後段は残したい。その他、文章の簡素化等の修文については会派で検討する。

○島山 公明党政務調査会長

趣旨は了解した。説明された内容で修文調整を検討する。

イ 意見書案2について

○奥谷 自由民主党政務調査副会長

太陽光パネルの大量廃棄の問題や製造過程の人権問題は、中小企業においても重要な問題で、SDG'sの目標の一つでもあるため、記1・2は削除せず残したい。或いは、本文冒頭部に記載して、この部分は中小企業に限らず一般的な課題として示すような修文であれば応じられる。

○増山 維新の会政務調査会長、島山 公明党政務調査会長、 迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

本文での記載であれば受け入れられる。

ウ 意見書案4について

○増山 維新の会政務調査会長

自民党提案の修文案に応じる。

○迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

原案の「新規取組者」の意味が分かりにくいため「市町村における新規就農者」とする修文案を提示したが、自民党提案の修文案で意味が通じるようになるのであれば修文はそちらに合わせる。

エ 意見書案5について

○島山 公明党政務調査会長

早期発見・早期治療も大切であるため加筆には応じるが、予防効果という意味でもワクチン接種は重要であること、費用対効果も含め国で定期接種について審議されていることから、「ワクチン」について全て削除する修文には応じられない。

○増山 維新の会政務調査会長

医療経済学的評価に関して、ワクチン接種に要する莫大な費用のリターンとしてどれほどの効果が得られるのか、まだ研究中であるならば、まずは周知から始め、多くの国民が帯状疱疹後神経痛のことを知り、早期治療に努めてもなお必要な状況であればワクチン接種に進むというように、段階を経るべきと考えている。ただし、「ワクチン」の文言を全く消してしまうのも意見書として言葉足らずと感ずるので、少し抑えた内容で残すような修文ならば考えられる。

○島山 公明党政務調査会長

効果のあるワクチンが出てきたが高額なため、費用負担の軽減を求める県民の声が多い。全額補助か一部補助かなど、方法は色々考えられるが、少しでも経済的な支援がほしいという趣旨なので、調整願いたい。

オ 意見書案7について

○迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

中学校での35人学級実現は昨年度全会派一致で提出した意見書の中でも求めている内容であり、維新の会も教育政策について少人数制学級を実現するとしている。全国市長会も国に要望しており、文部科学大臣も少人数学級の効果検証・推進に意欲を示している。「早急に」の文言を削除する等の修文であれば検討できるが、維新はどのように考えが変わってこのような修文案になったのか。

○増山 維新の会政務調査会長

会派人数が増え、会派内でも様々な意見が新たに出る中で、この部分は時期としてまだ早いとした。修文については調整を検討する。

(2) 意見書案の整理

(1)を踏まえ、座長において次のとおり整理した。

① 全会派一致の賛同が得られた意見書案

なし

② 全会派一致の賛同に向けて座長調整案を示す意見書案

- 意1 新型コロナウイルス感染症の支援の継続を求める意見書
- 意2 中小企業における脱炭素化への支援の充実を求める意見書
- 意3 不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための経済的支援制度の確立を求める意見書
- 意4 有機農業振興に向けた取り組みの促進を求める意見書
- 意5 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
- 意6 特別支援学校・特別支援学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
- 意7 豊かな学びと育ちのための少人数学級実現と教職員の働き方改革実現のための義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

③ 全会派一致の賛同が得られなかった意見書案

なし

その後、座長から調整案提示のスケジュールを示し、各会派において速やかに検討するよう依頼した。

(3) 日程確認

第3回会議を6月16日（金）13時30分に開催することを確認した。